



福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館

冬のおとなミュージアム

超



現実



伝伊藤若冲・筆
(付喪神図)
江戸時代(部分)

ニレイ(ミャンマー)
(制限された事柄の関係性-2)
2010年(部分)

ツェン・クワンチ[曾広智](中国)
(遠征する自画像シリーズ:
ニューヨーク(自由の女神))
1979年(部分)

2016年12月 → 2017年3月

今年の「冬のおとなミュージアム」は、あなたを「現実を超えた世界」へご案内いたします。

それは、現実と虚構を『演じる写真』が創り出す、現実には存在しない世界であったり、日常の中の概念が具象化して『見えないものを見る』瞬間であったりします。

あなたの現実を超えた世界について、饒舌に語り出す、所蔵品たちの声に耳を傾けてみませんか。あなたの周りの現実、あなたの視覚や概念を密かに裏切っているかもしれません。

演じる写真

福岡アジア美術館(博多リバレイン)

アジアギャラリー

2017.1.2 | 月 | → 3.21 | 火 |

10:00 - 20:00 ※入室は閉館の30分前まで

水曜休館 ※祝・休日の場合閉館、翌平日休館

誰かに扮して、別の世界に生きてみる。現実と虚構のはざまには、一体どんな世界が見えるのでしょうか。本展では、美術作家自身が別の誰かに姿を変えて、写真の世界に登場する作品や、現実には存在しない世界を人工的に作り上げる演出写真など、アジアの写真作品、約30点を紹介します。

見えないものを見る

福岡市博物館(シーサイドももち)企画展示室1

2016.12.20 | 火 | → 2017.2.19 | 日 |

9:30 - 17:30 ※入室は閉館の30分前まで

月曜休館 ※祝・休日の場合閉館、翌平日休館

私たちが生きる現実世界では、日常の中の概念が具象化して、「見えないものを見る」瞬間があり、また、それを感じ取ることでの豊かさへとつながっていることが多くあります。先祖から脈々と伝えられてきた、この「形のないものを可視化すること」の意味を、約20件の絵画や民俗資料などを通して考えてみませんか。

☆☆☆☆☆ 関連プログラム ☆☆☆☆☆

★おでかけトーク

各館の展示会場内で、3館の学芸員がそろってギャラリートークを行います。

福岡アジア美術館 1月21日(土) 13:30 ~ 14:30

福岡市博物館 2月12日(日) 13:30 ~ 14:30

※事前申込み不要。ただし常設展観覧が必要

★あなたの知らないバスツアー 要事前申込

マイクロバスで3館をめぐり、企画展やミュージアムの魅力をSNSや口コミで発信してください。リニューアル休館中の福岡市美術館にも潜入できるかも!?

1月28日(土) 13:00 ~ 18:00(予定)

【定員】抽選で20名 ※参加無料

【応募方法】往復はがき(〒810-8620住所不要)、メール、FAXに住所、氏名、年齢、電話番号を記入して、1月6日(金)までに文化振興課「あなたの知らないバスツアー」係まで。

【問い合わせ・申込先】福岡市文化振興課 TEL 092-711-4665

FAX 092-733-5537 Mail bunka.EPB@city.fukuoka.lg.jp

詳細は「福岡ミュージアム情報(美術館、博物館等) Fukuoka Museum Info」(<http://f-museum.city.fukuoka.lg.jp/>)に掲載予定

観覧料(各館とも): 一般200(150)円、高大生150(100)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金。 ※以下を提示していただくと観覧料は無料になります。

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(左記の手帳を提示された方の介護者1人を含む)、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、福岡市発行のシルバー手帳、北九州市発行の年長者施設利用証、熊本市・鹿児島市民で65歳以上が確認できるもの

主催: 福岡市、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館

問合せ: 福岡市経済観光文化局文化振興課 TEL 092-711-4665



〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1リバレインセンタービル7F・8F

TEL 092-263-1100 FAX 092-263-1105 <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>



〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1

TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019 <http://museum.city.fukuoka.jp/>

福岡市美術館 リニューアル 進行中!!

福岡市美術館はリニューアルでどう変わる？

- ◎前川國男氏の建築意匠はそのままに、大濠公園側から入るアプローチを新設します！
- ◎1階にカフェ、ミュージアムショップを新設します！
- ◎様々な展示に対応できるよう展示機能を向上させます！
- ◎情報コーナーやキッズスペースなど楽しい空間がひろがります！



リニューアル後の全景 (イメージ図)

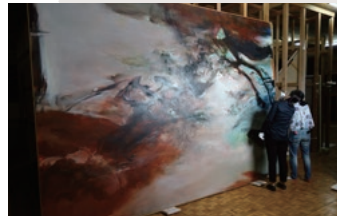
休館中も福岡市美術館の作品が見られる！

福岡市美術館は休館中ですが、下記の美術館・博物館、展覧会で作品を見ることができます。場所が変わると作品の違った一面に気づくかもしれません。ぜひご覧ください！

福岡市内・県内の美術館・博物館で作品が見られます。

◎福岡アジア美術館

「アニッシュ・カプーアとインドのカタチ」展(2017年1月2日(月)～5月9日(火))にて、当館の作品が展示されます。また、同館アジアギャラリーでも、ザオ・ウーキー《僕らはまだ二人だー10.3.74》(1974年)などの作品が順次展示されます。



ザオ・ウーキー《僕らはまだ二人だー10.3.74》の点検作業の様子

◎福岡市博物館

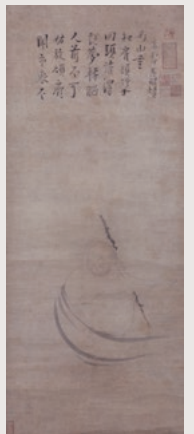
新年度から、同館と福岡市美術館の黒田家資料が、順次展示される予定です。

◎九州国立博物館

(〒818-0118 太宰府市石坂4-7-2)
<http://www.kyuhaku.jp/>
2017年1月より、当館所蔵の古美術作品が展示されます。

◎九州歴史資料館

(〒838-0106 小郡市三沢5208-3)
<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>
当館所蔵の東光院仏教美術資料が展示される予定です。詳しい展示スケジュールについては、九州歴史資料館HPにてご確認ください。



伝・胡直夫筆《布袋図》南宋時代13世紀
※九州国立博物館にて展示。期間1月17日～2月26日

福岡市美術館・北九州市立美術館所蔵名品展「夢の美術館ーめぐりあう名画たちー」

休館中の福岡市美術館と北九州市立美術館の所蔵品が、一緒に九州各地を巡ります。名品たちが奏でるハーモニーをぜひご堪能ください。

◎2016年12月20日(火)～2017年2月5日(日)

沖縄県立美術館(〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1) <http://www.museums.pref.okinawa.jp/art/>

◎2017年2月23日(木)～4月2日(日)

長崎県美術館(〒850-0862 長崎県長崎市出島町2-1) <https://www.nagasaki-museum.jp/>

その後、熊本県立美術館、久留米市美術館、宮崎県立美術館、島根県立美術館を巡回します。

福岡市美術館の 「どこでも美術館」が始まる！

福岡市美術館のアウトリーチ活動「どこでも美術館」が始動します！見て触れるさまざまなキットを持って、市内の小・中学校を中心に教育普及活動を行います。一般の方々が参加できる活動も「なみきスクエア」にて開催します。

「どこでも美術館」がやってきた！

2017年3月25日(土)10:30～15:00

なみきスクエア「ひまわりひろば」

(〒813-0044 福岡市東区千早4-21-45)

対象：小学生以下の子

どもとその保護者

事前申込み不要

参加費無料

小さなお子様でも参加できるワークショップや、小学生向けに楽しく絵を見る活動などを行います。ぜひおいでください！



つきなみ講座もやっています！

福岡市美術館の職員が、自身の研究や興味、仕事について月に1回お話しする「つきなみ講座」。休館中も場所をかえて開催します。

「福岡市美術館の仏教美術ー仏画の表現ー」

2017年1月21日(土)

講師：錦織亮介(館長)

場所：福岡アジア美術館8階 あじびホール 定員：50名

「どこでも美術館」で館外へ！ーリニューアル休館中の活動報告」

2月18日(土)

講師：崎田明香(学芸員)

場所：福岡アジア美術館8階 あじびホール 定員：50名

「ラファエル・コラン《海辺にて》の引越し大作戦」

3月18日(土)

講師：渡抜由季(学芸員)

場所：福岡市博物館2階 講座室2 定員：30名

いずれも15:00～16:00(受付は14:30～)。事前申込み不要。参加費無料。



2019年3月のリニューアルオープンを、皆さん、楽しみにおまちくださいね！